



ファジアーノ岡山

## 【ファジアーノ岡山×高校生×岡山県】ONE★STARプロジェクト始動! 1/2

地元高校生より会社へ届いた1通のメールからプロジェクトが始動しました。J1昇格し多くのビジターサポーターが岡山を訪れてくれるようになり、岡山の魅力発信を高校生の視点で行いたいというものです。この企画に対して、ファジアーノ岡山をはじめ、岡山県様もご協力して下さることとなり、プロジェクトがスタートしました。プロジェクトの進め方として、高校生が主体的に実施することをテーマとし、地元にある一番星(地域の魅力)を発掘、選定、取材交渉...等々を行い、イチ押しスポット(ONE★STAR)をまとめたマップをクラブと共同して作成。10月と11月の試合を対象に約1千人のビジターサポーターの皆様へ配布することができました。



活動場所 JFE晴れの国スタジアム



協働者

行政、学生

協働者名

岡山県スポーツ振興課、岡山県内の高校生



協働者の声

金光学園高校/石井 遥菜 さん



ファジアーノ岡山がもたらす経済効果を知り、ビジターサポーターに向けて地域の魅力を発信したいという思いから企画しました。私も地域の魅力を再認識でき、1人の高校生のアイデアでも地域を動かすことができることを実感し、大きな自信ができました。この取組みが様々な場所で起こるようになって欲しいと願っています。



活動詳細情報

1

[公式サイト](#)

2

[Yahoo! ニュース](#)

カテゴリ(SDGs)/取り組みテーマ



11

住み続けられるまちづくり



ファジアーノ岡山

【ファジアーノ岡山×高校生×岡山県】ONE★STARプロジェクト始動! 2/2

## Story

5月末、地元高校生から岡山を盛り上げたいという1通のメールがクラブに届きました。具体的にはビジターサポーター向けに観光マップを作成するという持込企画でした。クラブとしてもスタジアムを基点としたビジターサポーターによる県内観光への誘客を構想していた中であり、渡りに船のメールとなりました。すぐに企画をブラッシュアップし、募集開始した結果、7名の地元高校生から応募があり、7月から高校生持込企画をスタートさせました。

企画の進め方としては、完全オンラインでミーティングを合計4回(最終的には5回実施)行い、各ミーティングで確認することを予め定め、そこまでに必要な課題をクリアしていく進め方としました。ゴール設定としては、作成したマップを試合でビジター

サポーターの皆様配布することにしていましたが、そこまでのアウトプットイメージのみを共有するだけで、基本的には高校生とリアルな会話を通して想定内のことや想定外のことが起きてメンバーで解決することを前提に進めていきました。また、参加した高校生が主体的に活動できることをテーマとして掲げ、高校生が紹介したい飲食店や観光施設などをリストアップすることから始めていき、その後は取材交渉、現地取材、写真撮影など、後工程も意識した活動を心掛けながら進めていきました。こうした取り組みの中で、高校生それぞれ苦労することが沢山ありました。例えば、取材先となかなか連絡が取れないといったことや、連絡が取れてもアポイント取得で苦労するなど、各課題の締切がある中でクリアすることの難しさ(社会人が経験するようなこと)を身をもって体感しながら一つずつ課題をこなし、みんなでマップ作成に必要な情報を整理していきました。また、試合当日は高校生にブース稼働をお願いしており、作成したマップを配布するだけでなく、ブースでその他にPRしたいことを練ってもらいました。高校生からは、取材した際の苦労話ができるようにパネル展示を企画したり、サポーターの方からご当地のおすすめスポットをヒアリングしてマッピングする企画など、ユニークな視点でブースの賑わい創出を立案してくれました。



(高校生の当日の活動はとても頼もしかったです) また、試合当日は岡山県の冠デーということもあり、岡山県知事がブースへ立ち寄りくださり、高校生と談笑をしながら企画についての想いに触れていただきました。さらに、企画立案した高校生をクローズアップしたテレビ取材を受けることになり、想像を超えた展開となりました。これもこの企画に岡山県様が企画の推進や広報発信等にご協力をいただいたことで多くの方に注目していただけました。この活動を通してファジアーノ岡山を媒体に、社会と関わる場(活動)を提供できたことは微力ながら高校生の成長に貢献できたと考えています。最後になりますが、この場をお借りしてご協力をいただきました皆様に御礼を申し上げます。

